

第 6 回府中市自然環境調査員会議

日時 令和 5 年 9 月 2 1 日 (木) 午後 6 時～

場所 府中市役所 2 階 A201 会議室

出席者 石川・上野・後藤・佐川・鈴木・多田・野口・橋本・宮島・森田・山田委員
計 11 名

武蔵台公園植生管理委託業者第一造園株式会社 神崎・市川

事務局 田邊係長・中澤・池田

今回より公園緑地課から、武蔵台公園の生物多様性に配慮した植生管理を委託されている第一造園株式会社が情報交換のため当会に出席することとなった。

議 題

1 自然環境調査について

(山田委員) 調査報告を見て、委員、第一造園さんから何か気が付いたことはあるか。

(第一造園) 毎日武蔵台公園作業している際に植物を多く見る。自然環境調査員会議が月例の調査後、次回の調査の間で見つかった植物は環境政策課をとおして情報共有している。キツネノカミソリはテニスコートの前あたりでよく見られた。去年はあまり見られなかったので成果だったと思う。

(事務局) 自然環境調査員会議の委員の皆様より毎月の調査報告を出していただいているが、第一造園さんにも武蔵台公園を見ていただき、気づいたことを情報共有していただいている。また、維持管理の点でも委員さんより第一造園さんに聞いてみたいことがありましたら、いい機会なのでこの場でだしていただきたい。

(橋本委員) 今月の調査の時に発見したが、黒鐘公園との境のフェンスのところに病院側に根っこのある木の倒木がありフェンスを倒している事態があったが、そういった場合は市と病院どちらで対応するのか

(事務局) 本来は病院側が対応をするところだが、公園の管理上、公園利用者の通行に支障がある場合は市が対応せざるを得ない。

(第一造園) 今の話は行政側の意見だが、危険な場所（歩行障害）の部分は除去するが、根っこの部分は病院側なので、そこまでは対応するのは難しい。作業を行う時は必ず公園緑地課と協議の上作業を行っている。

(第一造園) このような場合は毎月調査をされている委員さんから病院側に話を持って行った方が市から言うよりももしかしたら話が進みやすいかもしれない。病院側で何もしないからといって市で全部やってしまうと病院側は当たり前のように思ってしまう。本来は病院側で行うところだが、公園内の支障が出ているところは市で対応するようになってしまう。ご理解をお願いしたい。

(橋本委員) 倒木の下に生育する植物が心配。

(第一造園) そうゆう理由でもいいのでみなさんからも病院側に意見をぶつけてもらった方がよい。

(事務局) 市としても精一杯の対応をしていると思うのでご理解いただきたい。

(山田委員) 今年は今までにないぐらいの大量の枯れ枝が落ちている。これは何が影響しているのだろうか。

(第一造園) ナラ枯れのこととかも影響しているのかということですかね。

(第一造園) その件については、これからも観察を続けていくことで検証をしていく。

- (山田委員) 雑草も多くなってきたり、今までとは植物の生え方に変化がでている。
- (第一造園) 武蔵台公園に限らず、今までと変化している。今年は春になるのが早かったので、樹木の花の開花も前倒しになっている。季節感というものが、かなり変化している。
- (多田委員) 武蔵台公園真ん中あたりを第一造園さんが手をいれて木を切ってくれてだいぶ明るい森になった。公園内の残す樹木の基準はあるのか？武蔵台公園をこのように整備しているのは市の方からの意向か。
- (第一造園) すべてガイドラインに沿って行っている。
- (事務局) 武蔵台公園は以前より雑木林なので、基本は雑木林を維持するようにおもに常緑樹を除去していつているが、野鳥や哺乳類の隠れ家になるような居場所を残していくような方針でエリアをくぎって常緑樹の伐採などの作業を行っている。
- (第一造園) ガイドラインの中で常緑樹を取り除いていく方針が出されており、春からトウネズミモチを集中的に取り除いたので明るい印象になっていると思われる。
- (森田委員) 農工大の先生と武蔵台観察会を行い、先生より昔、武蔵台公園は植物を移植されたという話を聞いた。現在武蔵台公園では3種類のカンアオイ（タマノカンアオイ、ランヨウカンアオイ、カンアオイ）があり、これらも移植されたものかと先生にお聞きしたところ、正確にはわからないが、その可能性もあるかもしれないようなお話だった。確かガイドラインには移植された植物は除去した方がよいと示されていたと思うので、カンアオイも移植されたものであったら除去した方がよいのか。あわせて、武蔵台公園にある移植された植物について、市が調べて、私たち委員に示してほしい。
- (事務局) 武蔵台公園の、いつ、どの場所に移植したという情報は武蔵台公園を設置した時の資料等を見なければわからないと思う。植物がどこから来たのかというルーツはDNAなどを調べればわかるのかもしれないが、膨大な時間と費用がかかる。ガイドラインに示されている移植された植物というのは、移植されたことが明らかであることが判明している植物のことであり、それらはガイドラインに沿って第一造園さんに除去してもらっている。しかし、カンアオイについてはその判断がむずかしいので除去せずにそのままにしている。調べてみて、わかるようであれば情報共有する。
- (事務局) 前回の定例会の時に「自然環境調査の時に外来種が見つかった場合、それを除去した方がいいか」というご質問について回答する。調査時は調査に専念してもらい、外来種であると断定でき、かつそれが少数で簡単に除去できるようであればその場で抜いてもらって構わない。判断がつかないものやその場での処理が難しいものについては、調査中などに第一造園さんに伝えていただき、後日対応してもらおうようお願いしたい。

2 秋の自然観察ウォーキングツアーについて

コース 自然観察ウォーキングツアー「キャンパスの緑を巡る道」

日時 令和5年11月22日（水） 午前9時から正午まで

集合 府中駅北口改札ペDESTリアンデッキ 午前8時30分

募集人数 20名（広報ふちゅう10月15日号に掲載）

委員参加者 石川、上野、後藤、佐川、多田、野口、三宅、宮島、森田、山田委員

実踏 令和5年11月15日（水） 午前9時

集合 府中駅北口改札ペDESTリアンデッキ

実踏委員参加者 石川、上野、後藤、佐川、多田、野口、三宅、宮島、森田、山田委員

- (事務局) ウォーキングツアーのコースは前回の会議で、「キャンパスの緑を巡る道」で決定している。本日の配布資料である平成30年度に同コースで実施した時の報告

書を参考にしていただきたい。農工大学には入校の許可はとれている。ただし、授業をしている校舎もあるため、拡声器の使用はできない。そのため、少人数の班に分かれて説明していただくほうがいいのではないか。また、現在の募集人数は25名としているが、人数はいかがか。検討をお願いします。

- (森田委員) 今回解説者は誰にするのか。山田さんが適任と思われる。
- (山田委員) 実踏の時に委員全員で見て、同じ場所で同じ説明をするためのある程度シナリオを作って、参加者を何班かに分けて説明するのはどうか。
- (森田委員) 誰が解説するのか。
- (橋本委員) 毎回解説者をだれにするかという話になるので、自薦でも他薦でもいいのでここで決めればいいのか。
- (佐川委員) ウォーキングマップに説明が書いてあるので、みんなでそれを見て説明すればいいのでは。
- (山田委員) 春のレンリソウのウォーキングツアーの時は2班に分かれたか。
- (森田委員) あの時河川敷で道も狭く、班分けしなかった。
- (山田委員) では、今回も班分けしなくてよいのでは。
- (橋本委員) 参加者の中には写真撮る人がいたりして止まってしまうので進みが遅い。班分けしても意味がないのでは。
- (森田委員) 夏の昆虫観察会のように、解説者は1人で、その他の委員は参加者をうまく誘導してくれると解説者はやりやすいと思う。今回の場所は、府中公園や農工大学だが、農工大学は講義をしている校舎の近くはうるさくしないようにすればいいのではないか。
- (山田委員) 参加募集人数を20人にして、1人が解説し周りが誘導するのでいいのでは。マニュアルを作って皆さんに配布するか。実踏の時に、説明箇所に関しては、委員全体で確認をすることとする。
- (事務局) 今の話し合いで決定した内容は、募集人数は20人、解説者1人、コースは府中 駅集合～寿中央公園～農工大学正門～南門（トイレは農工大に使用申請する予定）～府中公園～府中駅解散でよろしいか。
- (事務局) このコースで実踏もまわってみる。次回の定例会の時に事務局よりウォーキングツアー当日の役割分担について提案する。

3 緑化講習会について

日 時 令和5年12月3日（日） 午後1時～

※集合時間 午後12時30分（早く来れる人は10時集合）

場 所 片町文化センター講堂

内 容 身近な木の実や木の葉でリースを作ろう

募集人数 20人

広 報 11月1日号広報掲載予定

委員参加者 石川、上野、後藤、佐川、鈴木、多田、田中、野口、三宅、森田、山田委員

- (事務局) 今年度は例年使用している中央文化センターが予約が取れず、片町文化センターで行えたらと考えている。片町文化センター付近には自然観察を行えるような場所がないため、散策はせずにリース作りのみ行う方向でよいか。また、開催候補日は12月2日、3日、9日、10日を考えている。この中から日程を決めてほしい。

- (事務局) 参加人数が一番多い12月3日に決定する。
事前にリースの土台作りの作業を行う。日程は10月13日（金）午後から行う。メールにてみなさんに呼びかけるので、都合のつく方は参加をお願いしたい。リース作りのパーツとなる松ぼっくりや木の実などの在庫が不足しているので、みなさん公園などに行かれたときに収集していただき、事務局までお持ちいただくようお願いしたい。

- (多田委員) リースの土台は小ぶりのものが参加者から人気があるようだ。
- (石川委員) グルーガンを置く板の枚数が少ないのではないか。
- (事務局) 板に関してはやりようによってどうにでもなる。消耗品として購入してもよし、新聞紙を敷けばよいのでは。
- (橋本委員) 前回開催した時に、参加者の方より作成したリースが思っていたよりも大きく、手持ちの袋にはいけないという意見があったので、こちらでも大きな袋を用意した方がよいのでは。

報 告

1 府中市自然環境調査（令和4年度）報告書の配布について

- (事務局) 令和4年度について、みなさんから提出していただいた報告書を取りまとめたものを配布する。内容を確認いただき、何かありましたら事務局までお伝え願いたい。

2 夏の自然観察親子イベントについて

- (事務局) このことについて、今回配布した報告書とアンケート結果をご覧くださいご意見をいただきたい。
- (山田委員) 今回は植物の解説の時間を省き、子どもたちに昆虫を観察してもらう時間をたくさんとることができたので、喜んでもらえた。アンケート結果からも「子供たちが自分たちで取った昆虫の解説をすぐしてうれしかった。」とあり、とてもよかったと思う。

その他

- (事務局) 市内でシカとハイイロゴケグモが発見されている。市ホームページで詳細を載せているのでご確認ください。
- (橋本委員) 野鳥クラブでツバメのねぐらの保全を10月18日(水)、11月2日(木)(予備日11月10日(水))で実施する予定のため、ご都合のつく方はご協力をお願いしたい。
- (橋本委員) ツバメの子育て調査の結果はいつになるか。
- (事務局) これからお示しする。
- (橋本委員) 野鳥クラブで11月14日(日)に「小鳥のおうちをのぞいてみよう！」というイベントを浅間山で開催するため、事前に11月4日(水)に除草を行う。お手伝いいただける方は浅間山の男坂の下に集合してもらいたい。

次回の会議予定 日 時 令和5年11月16日(木) 午後6時～
場 所 府中駅北第2庁舎3階小会議室